

県西教育事務所だより

「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 令和5年1月10日発行(第7号)

令和5年の幕開け 飛躍と向上の年へ！



明けましておめでとうございます。希望に満ちた新春を迎え、子どもたちや教職員の皆様にとりまして、本年が素晴らしい年でありますようお祈り申し上げます。

今の時代は、人口減少、気候変動、テクノロジーの進展による社会構造の変化に加え、今般のパンデミックなどにより、生活や学び、仕事が大きく変わりつつあります。子どもたちが生きる未来には、さらに予測困難で非連続かつ多様性の時代となることが見込まれます。想定外や板挟みの局面にも対応できる人財を育むために学校教育にも変革が求められています。管内各学校では、コロナ禍にあっても、小学校教科担任制や1人1台端末の活用、STEAM教育の充実、学習指導要領の確実な実施を通して、児童生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、他者と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手を目指す教育の実現に向け、ご努力いただいていることに感謝申し上げます。

さて、2023年の干支は「癸卯（みずのとう）」になります。中国伝来の十二支は、植物が循環する様子を表しており、その年の特徴につながるといわれています。「癸」は、物事の終わり始まりを意味する他、「揆（はかる）」という文字の一部であることから、「種子が計ることができるほどの大きさになり、春の間近でつぼみが花開く直前である」という意味だといわれています。「卯」は「茂」という字が由来といわれ、「春の訪れを感じる」という意味、また、「卯」という字の形が、「門が開いている様子」を連想させることから「冬の門が開き、飛び出る」という意味があるといわれています。この2つの組み合わせである癸卯は、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起のよさを表しています。一昨年から続いている新型コロナウイルスの感染状況等については、少しずつコロナからの回復の兆しが見え始めた方もいるのではないのでしょうか。

2023年の卯年は、今までの数年間から大きく「飛躍」し、私たちの生活が大きく「向上」する年になって欲しいものです。

様々な教育活動に対し、改革意欲をもって取り組み、「癸卯」年のいわれのように子どもたちと共に飛躍・向上していきましょう。県西教育事務所は、「学校を支え 共に歩む 信頼される教育事務所」として、本年も管内各学校や市町教育委員会と密接に連携していく所存です。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



県西教育事務所長 石塚 浩司

「中学生のための教職セミナー」開催

令和4年11月19日(土) 茨城県教育研修センター

教師という職業に興味や関心がある生徒を対象に、将来への夢や希望を実現しようとする意欲や態度を育む機会として、「中学生のための教職セミナー」をオンラインで実施しました。協力者の先生方と中学生によるグループトークでは、教師のやりがいや直面している課題等について質疑応答が行われました。先生方からは、自身の実践や胸が熱くなる瞬間について語る姿が見られました。参加した中学生からは、「教師になりたいという気持ちが一層強くなりました」等の前向きな発言があり、お互いに充実した時間となりました。

各校においても、未来の同僚を一人でも多く輩出できるよう、子供たちに教師の魅力を伝えていきましょう。

参加した中学生の感想より (一部抜粋)

子供たちとともに学び、子供たちに教え、さらに子供たちの小さな変化にまで気付くことのできる先生方をとても素敵だと感じました。

教師になるにあたって担任をもつだけが教職の内容ではなく、養護教諭や各主任の先生などがいることを知ることができて勉強になりました。1年生で参加していたのは私だけだったけれど、早いうちから情報を得られたことは目標を決めることにも繋がるのでよかったです。勉強頑張ります！

グループトーク協力者の先生方

- ・日向 亮大 教諭 (坂戸小)
- ・野口 奈々美 教諭 (境小)
- ・松崎 央記 教諭 (八千代一中)
- ・遠藤 祐歩 養護教諭 (菅原小)
- ・信田 智也 教諭 (下館工業高)
- ・大森 玲奈 教諭 (境特別支援)



グループトークの様子

身振りや資料を提示して

改めて、「コミュニティ・スクール(CS)」って？

学校  地域

「地域に開かれた学校」から、地域と一体となって子供たちを育てる「地域とともにある学校」へ

CSとは、地域でどのような子供たちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民等と共有し、地域と一体となって子供たちを育てる仕組みです！

→今まで地域との連携をしてきた活動を整理し、法に沿って組織して持続可能な体制をつくります。

<CSの3つの機能>

①校長が作成する**学校運営の基本方針を承認**する。

委員の方は、学校のために一緒に汗を流してくれます！

②**学校運営**について、教育委員会又は校長に**意見を述べる**ことができる。

③**教職員の任用**に関して、教育委員会規則に定める事項について、**教育委員会に意見を述べる**ことができる。

※学校現場のCS導入の不安に上記③の人事に関する内容があります。しかし、CSは合議制の機関なので、個人としての意見は尊重されません。そのため、教職員人事に大きな混乱が生じることはありません。



R4.7 現在の茨城県 CS 導入状況 → 「21 市町村 206 校で導入済み」 (R5 は県内 44 市町村中 36 市町村導入予定)

CS という仕組みを理解し、活用することを通して、「地域とともにある学校」を実現していきましょう！

令和4年度「茨城県幡谷教育振興基金」贈呈式の開催

令和4年11月16日(水)にセキショウ・ウェルビーイング福祉会館コミュニティホールにおいて、令和4年度「茨城県幡谷教育振興基金」贈呈式が開催されました。

今年度、筑西市立下館南中学校は、理科研究部の生徒を中心に学校全体で計画的・継続的に科学研究に取り組み、4年間で14作品を科学研究作品展に出品するなど、科学的な思考力の育成を図っています。また、市研究指定を受け、理科の研究成果を授業公開したり、小中間での相互授業参観、南極観測隊員による講演会を開催したりして、理科教育を推進している功績が認められ、表彰校に選ばれました。

各学校においても、科学技術発展に対応した教育の充実を図っていきましょう。



【贈呈式には 代表生徒が参加】

人事課より

1. 働き方改革について

各学校で、行事や業務の見直し等を進めていただいた結果、超過勤務縮減に大きな成果をあげることができました。また、部活動運営方針が改訂され、令和5年4月からは新たな方針に基づいての実施となります。

<第3回働き方改革アクション会議(令和4年11月25日開催)で共有した数値目標>

「令和5年2月の勤務状況報告書(3月提出)において、45時間超え教職員ゼロ」

学校における働き方改革が本格的にスタートした2019年の文部科学大臣メッセージを抜粋してみました。

「教師たちが毎日子供たちの前でいきいきと教壇に立てるよう、力を合わせていきましょう。そして、これからも優秀な若者が教師になりたいと思えるよう、教師の仕事をより魅力的なものにしていきましょう。」(一部抜粋)

私たちの教師という仕事をより魅力的なものにしていけるように、一人一人が改革意識をもって働き方改革を推進し、働き方改革アクション会議で共有した数値目標の達成を目指していきましょう。

2. 服務規律の確保について

教職員は児童生徒の模範たる立場にあります。児童生徒、保護者、地域の信頼を失うことがないよう、服務規律の一層の徹底を図るようお願いします。

・飲酒運転の根絶

・個人情報の漏洩、紛失防止

・体罰、不適切な指導の根絶

特に、飲酒の機会が多い時期に、「飲酒運転をしない!」、「させない!」という強い意志をもちましょう。

☆12月に各校で作成した「飲酒運転防止のための各学校における校長の対応について」は、以下にアップロードしてあります。一読ください。 [教育情報ネットワークのポータルシステム「文書共有→15_県西教育事務所」](#)